

**地盤柱状改良**

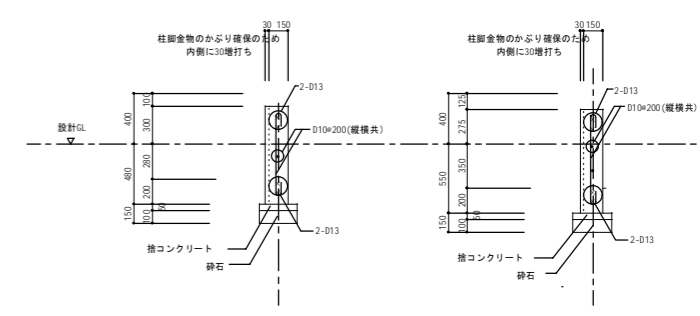
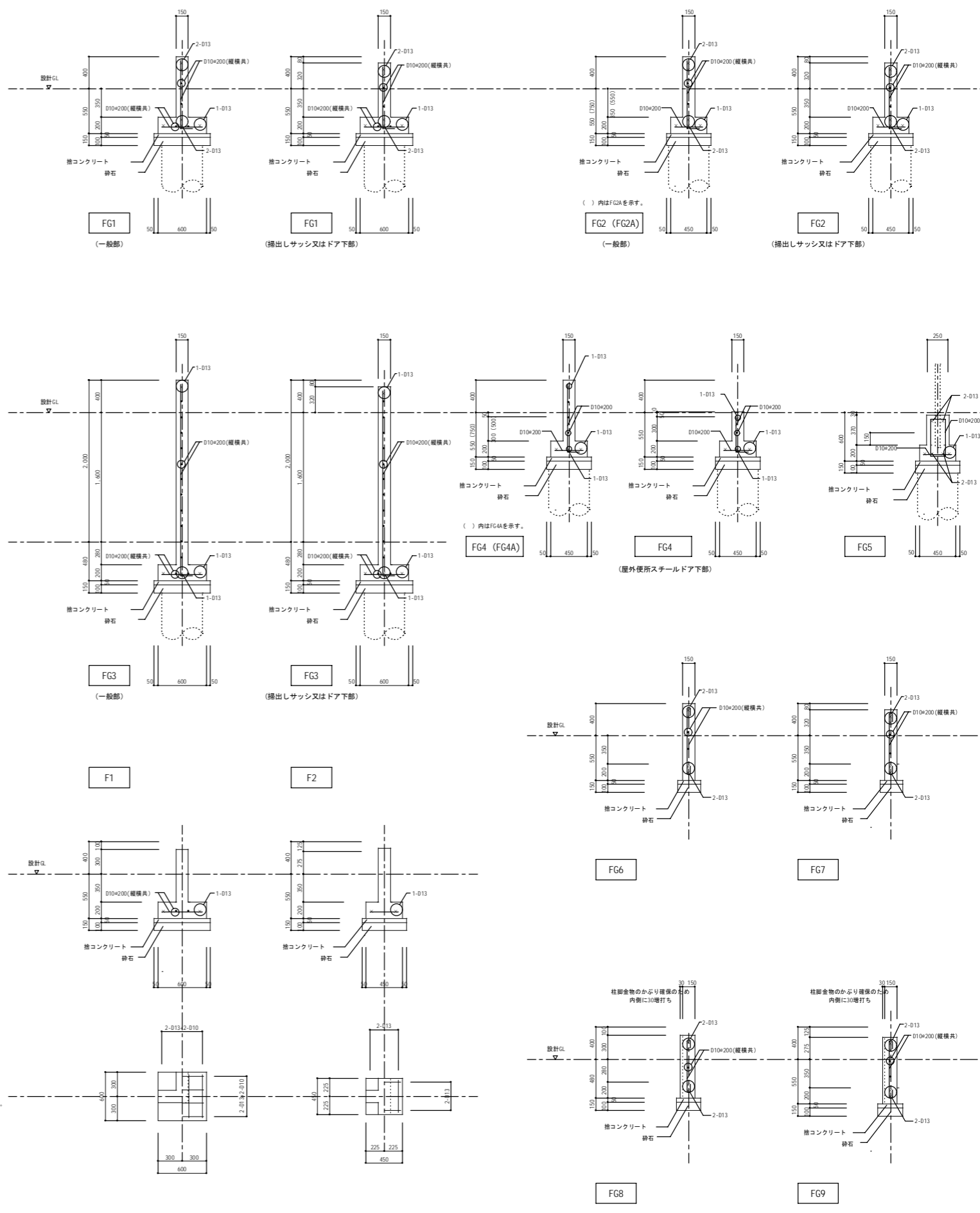
改良杭 500φ 湿式柱状改良 300kg/m<sup>3</sup>配合  
 Fc=900KN/m<sup>2</sup>  
 杭先端 設計GL-5.10m  
 杭総本数 100本  
 (注記) 固化剤の決定については採取した土質の配合試験により決定のこと。

**土間リスト**

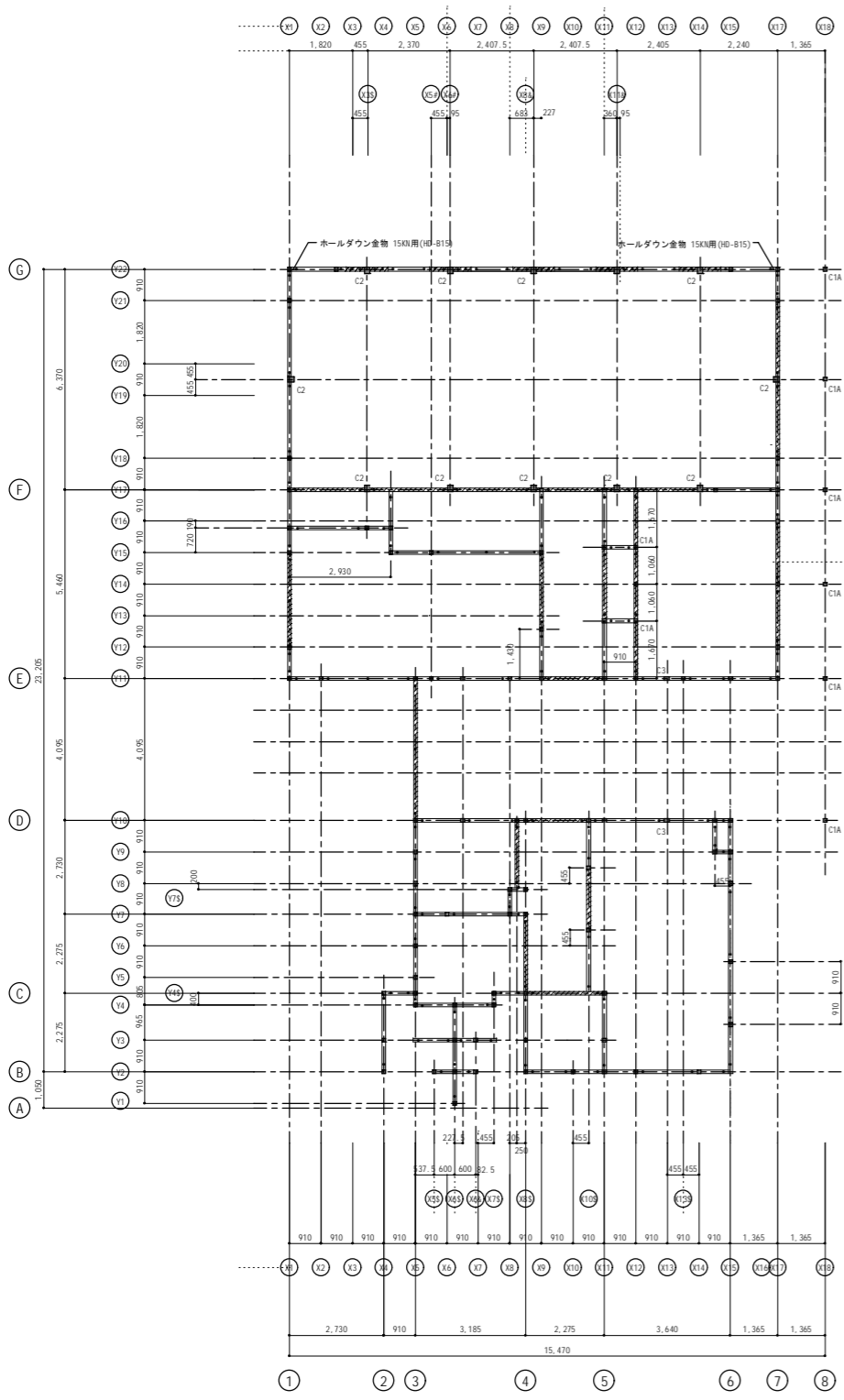
屋内一般	土間コンクリート 厚さ 150	エントランス	土間コンクリート 厚さ 120	漆縁	土間コンクリート 厚さ 120
	配筋 D10×200(縦横シングル)	屋外使用	配筋 D10×200(縦横シングル)		ワイヤーメッシュ φ6-@150×150
	ポリスチレンフォーム 厚さ25		再生クラッシャーラン 厚さ100		再生クラッシャーラン 厚さ100
	ポリエチレンフィルム 厚さ0.15				
	再生クラッシャーラン 厚さ100				

基礎伏図 1:100

設計GL-基礎+700とする。  
 特記なき限り基礎はF2とする。  
 柱内の鉄筋は土間コンクリートのレベル(設計GLを基準とする。)を示す。  
 特記なき土間レベルは設計GL-120とする。  
 特記なき埋り基礎は設計GL-550とする。  
 \* 印はアンカーボルト W12×400×50×2000以内とする。  
 \* 印はホールダウン金物 H0-815とする。



※A3版の場合、スケールは50%



土台伏図 1:100

特記なき土台の大きさは、105×105とする。  
 〇印の土台の大きさは、105×30とする。  
 \*印はアンカーボルト M12×400×50φ2000以内とする。  
 \*印はホールダウン金物 H0-815とする。

部材リスト

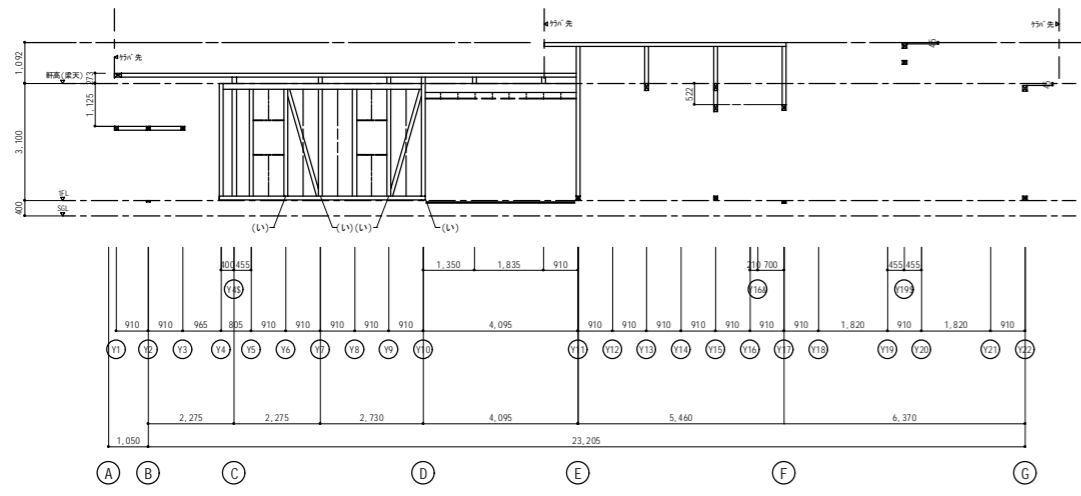
＜軸組＞					
柱	特記なき柱はC1とする。				
C1	105×105 杉 特一 柱脚金物 (図示による)				
C1A	105×105 杉 無節 柱脚金物 (図示による)				
C2	150×180 杉 無節 柱脚金物 (図示による)				
C3	150×105 杉 特一 柱脚金物 (図示による)				
	設計GLより1mの範囲は防蟻剤を施すこと。				
間柱	36×105 杉 特一 φ455				
窓まぐさ	寸法は意匠による。 杉 特一				
筋交い	けさぎの筋交いにおいては ● 付の側を柱頭とする。				
Ⓐ	45×90 杉 特一 筋交い金物共 (けさぎ)				
Ⓑ	45×90 筋交い金物共 (たすきがけ)				
	筋交い結合部は筋交いプレートを使用すること。また、1階柱・小屋伏図に図示する引抜金物を柱頭、柱脚それぞれに使用すること。				
梁	無印 杉 特一 伏図に図示する。				
	*印付 杉 無節 伏図に図示する。				
	特記なき限り、梁巾は105とし、伏図中の梁の添え字は梁成を示す。				
母屋	105×105 杉 特一 配置は図示による。				
東	105×105 杉 特一 配置は図示による。				
たるき	45×45 杉 特一 一般部 ピッチは伏図に示す。				
	45×90 杉 特一 集会室・大屋根部分 ピッチは伏図に示す。				
野地板	ア12 構造用合板				
床板 (集会室ロフト)	ア22 構造用合板				
火打	90×90 杉 特一 配置は図示による。				
	又は鋼製火打でも可				
くも筋交い	15×90 杉 特一 位置は屋根伏図に記入				
土台	105×105 桧 特一 一般部				
	105×30 桧 特一 開口直下部 配置は図示による。				
	防蟻剤を施すこと。				

- \* 木材関係の主な適用規程を示す。
- ・法37条 建築材料の品質 → 指定建築材料はJIS・JAS又は大臣認定
- ・法37条 構造部材の耐久性 → 構造耐力上主要な部分の腐食・腐朽又は摩損措置
- ・令38条 基礎 → 図示
- ・令39条 屋根葺き材等の屋根 → 屋根・内装・外壁・構造物の脱落防止等
- ・令40条 木造規定の適用範囲 → 木造・組石造等
- ・令41条 木材 → 構造耐力上主要な部分の使用材料品質等
- ・令42条 土台及び基礎 → 基礎との接合(基礎50cm以内は除く)等
- ・令43条 柱の小径 → 建築材料の1/20, 22, 25, 28(30), 33等
- ・令44条 はり等の横架材 → 中央付近の欠込み禁止
- ・令45条 筋交い → 図示
- ・令46条 構造耐力上必要な軸組等 → 図示
- ・令47条 継手又は仕口 → 図示
- ・令48条 学校の木造校舎 → 該当なし
- ・令49条 外壁内装等の防蟻措置等 → 柱・筋交い・土台の防蟻措置(地上から1.0m以内)

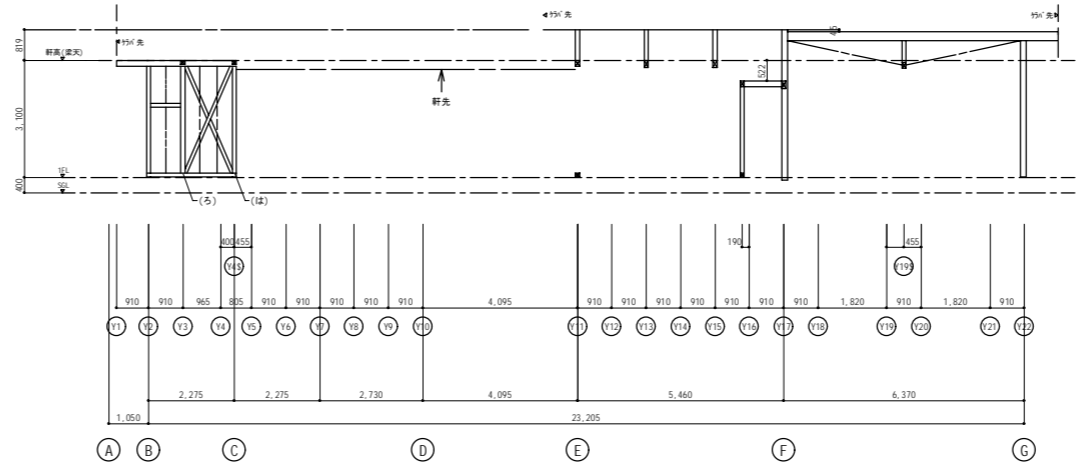
【註記事項】  
 ・使用木材は、すべて 産山産材もしくは三重県産材 (産山産材優先とする。)とし市内の製材業者等を優先とする。  
 ・特記以外の製作金物は、すべて JIS K 5621 赤銅塗装とする。

※A3版の場合、スケールは50%



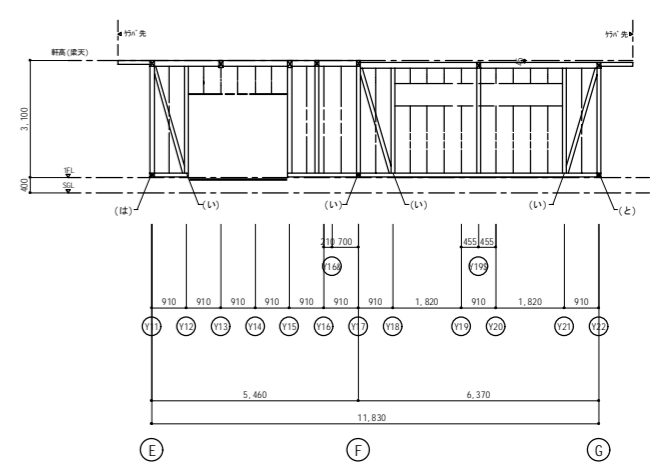


③ 通り 軸組図 1 : 100

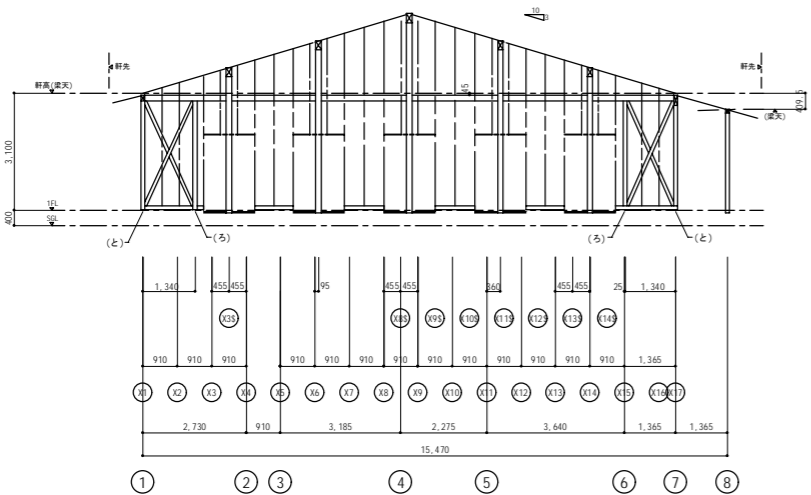


② 通り 軸組図 1 : 100

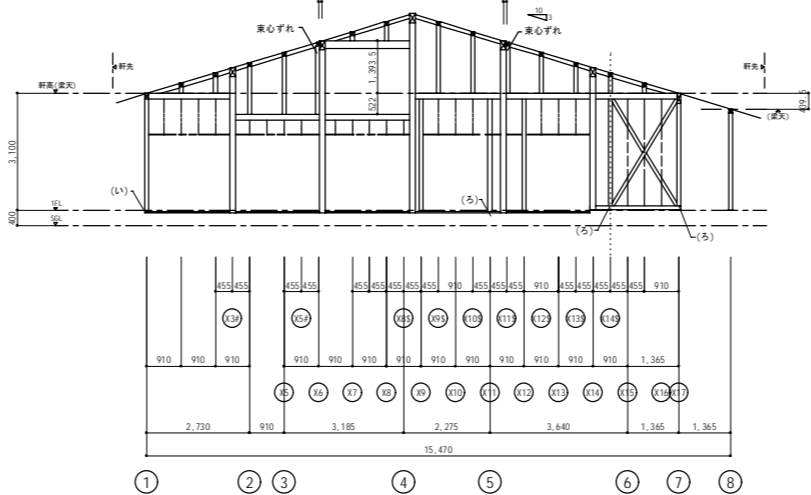
X39 通り 軸組図 1 : 100



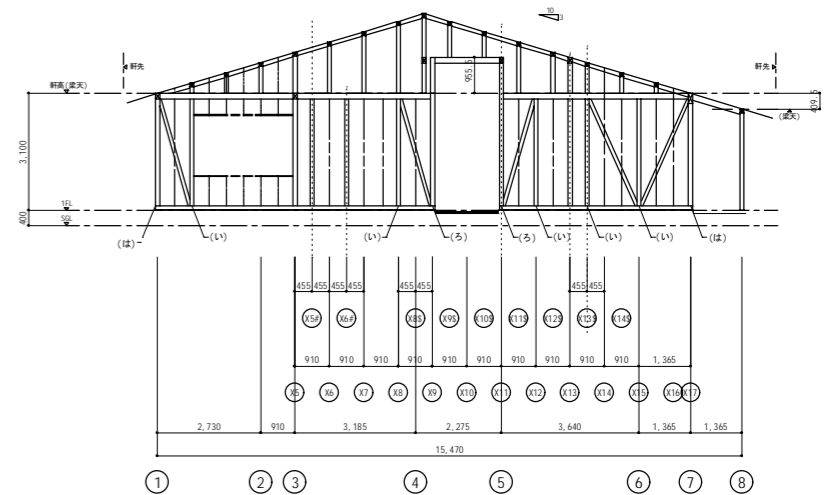
① 通り 軸組図 1 : 100



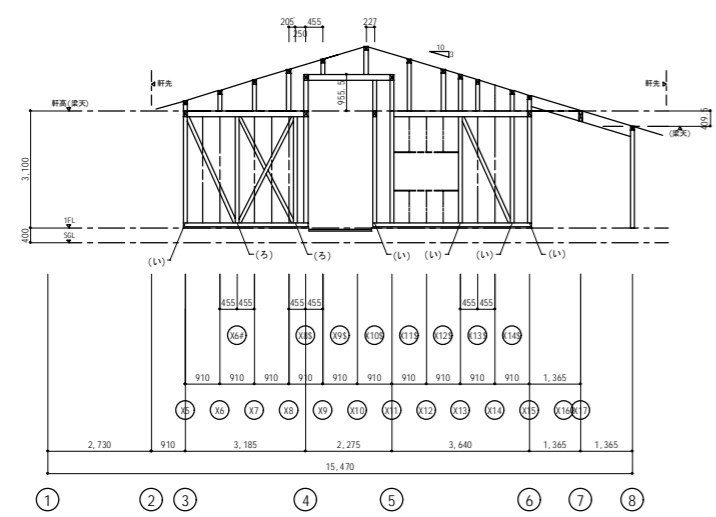
⑥ 通り 軸組図 1 : 100



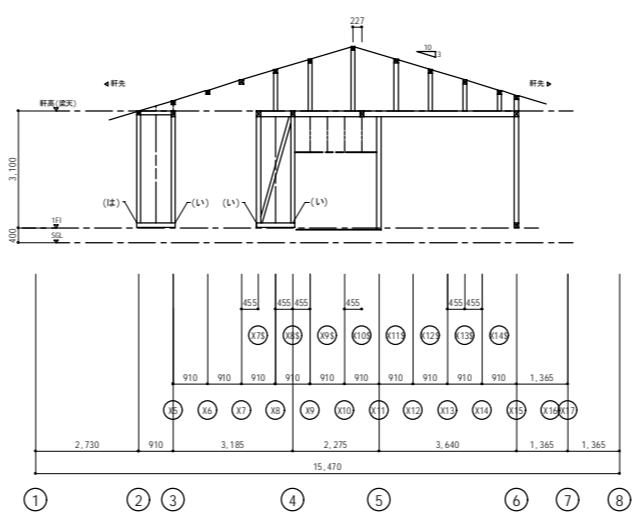
⑦ 通り 軸組図 1 : 100



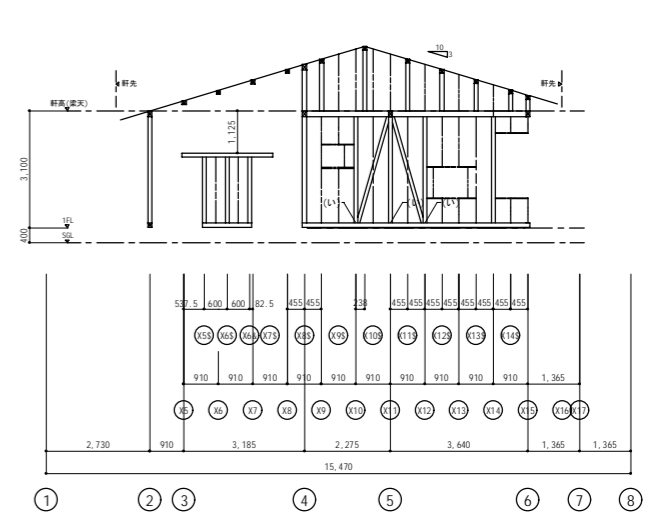
⑤ 通り 軸組図 1 : 100



④ 通り 軸組図 1 : 100




③ 通り 軸組図 1 : 100



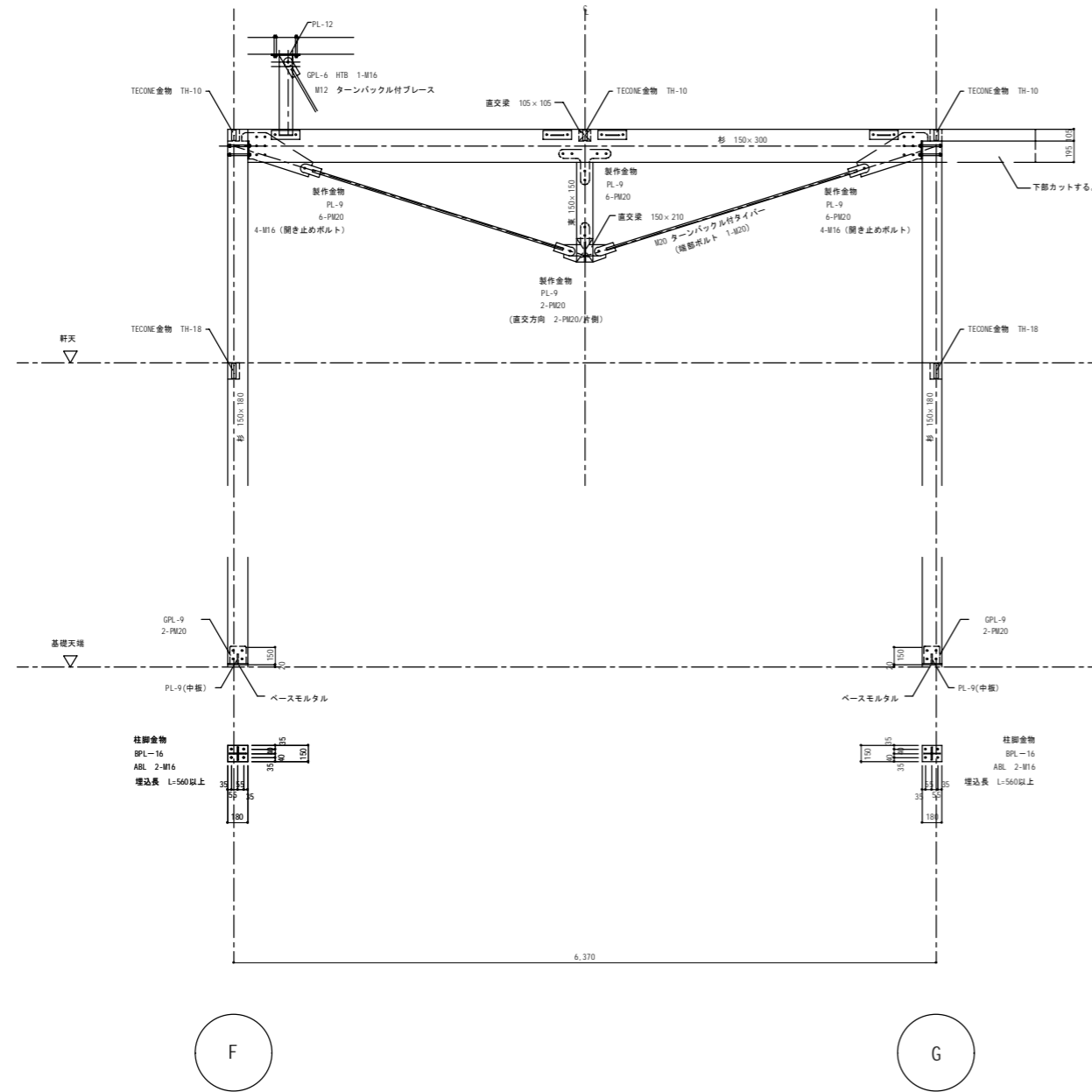
② 通り 軸組図 1 : 100

※A3版の場合、スケールは50%

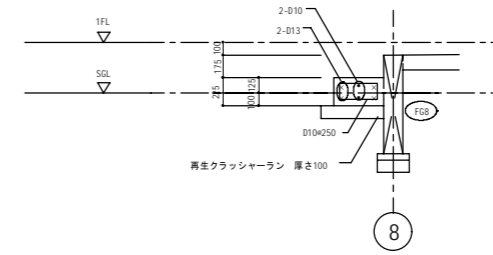
注記	月 日	工事名称	工事種別	 株式会社 阿波設計事務所 校閲 担当 製図	図面名称	設計No.
	変更	神辺地区コミュニティセンター改築工事			図面No.	
				設計年月日	縮尺	ファイルNo.
				2013.3	1/100	S / 11



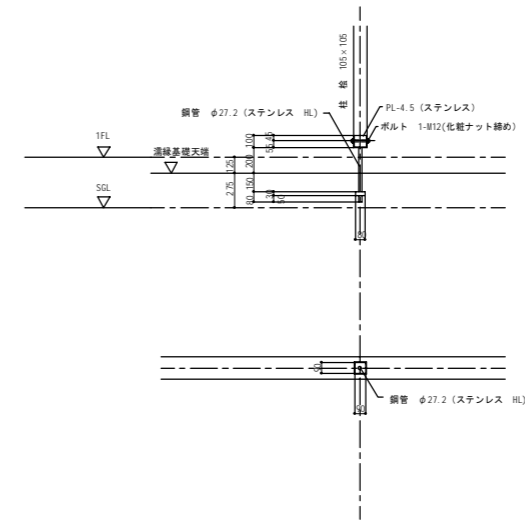
集会室架構および金物詳細図 1:30




エントランス階段配筋詳細図 1:30



エントランス・濡縁柱脚金物詳細図 1:30



※A 3版の場合、スケールは50%

注記	月	日	工事名称	工事種別	 株式会社 阿波設計事務所	図面名称		設計No.		
	変更					神辺地区コミュニティセンター改築工事	校閲	担当	製図	詳細図
						校閲	設計年月日	縮尺	ファイルNo.	図面No.
							2013.3	1/30	S	13

